

(経営力の強化を目的とする取組用)

都道府県名	山形県	報告年度	平成22年度
-------	-----	------	--------

事業実施年度	市町村名	地区名	整備事業の取組内容	成果目標	目標値		当該年度の目標(A)	Aに対する達成率	点検結果及び講じようとする措置又は点検評価及び講じようとする指導
					計画時	目標年			
18年度	寒河江市	三泉	経営構造対策	認定農業者の育成	20戸	23戸	23戸	166.6%	成果目標を達成した。水稲直播による春作業の省力化により、さくらんぼの生産拡大が可能となった。また、農地利用集積円滑化団体(JA)が積極的に農地の利用調整活動を展開したことにより、農地の集積や連担化が進んだ。今後は、更に水稲直播の作業面積を増やすとともに、さくらんぼの県奨励品種への切り替えや、担い手の高齢化に対応した省力化技術対策の推進等産地の維持強化を図っていくこととしている。
				利用集積率	31.2%	42.1%	42.1%	213.7%	
				連担化率	38.7%	54.6%	54.6%	114.4%	
				さくらんぼの作付面積	40ha	50ha	50ha	108.0%	
20年度	-	-	農業研修教育・農業総合支援センター施設整備	食品加工分野及び果樹分野の新規就農率の向上	0.0%	50.0%	50.0%	96.0%	平成20年4月に果樹経営学科、平成21年4月に農産加工経営学科を新設し、平成23年3月の卒業時の学生は果樹経営学科15名、農産加工経営学科6名であった。このうち果樹経営学科で8名、農産加工経営学科では2名が新規就農し、両学科の新規就農率は48%とほぼ目標を達成することができた。今後とも就農率向上のため、関係機関と連携を図ることが重要である。特に農産加工部門においては、基盤そのものが脆弱であり、部門の構築をすることが最重要である。このため、受け皿となる農業法人や企業等での6次産業化に向けた取組について、関係機関等との連携を強化する必要がある。
21年度	山形市	金井	集落営農育成・確保緊急整備支援	集落営農の組織化	1組織	1組織	1組織	100.0%	成果目標を達成した。農用地の利用集積及び連担化については、地域内農業者の積極的な話し合いによる利用調整により目標を大きく上回ることができた。今後は、集落営農組織の法人化等の体制強化に向けて活動していくこととしている。
				水田・畑作経営所得安定対策への加入	1組織	1組織	1組織	100.0%	
				農用地の利用集積	45ha	47ha	47ha	700.0%	
				農地の利用集積率	69.2%	72.3%	72.3%	674.1%	
				うち連担地面積	22ha	24ha	24ha	400.0%	

都道府県平均達成率	213.8%
-----------	--------

目標年度	第三者機関の開催年月日	事業実施主体	整備施設等
第三者機関によって審議した内容及び意見			第三者機関の意見を踏まえて都道府県が事業実施主体に対して指導した内容